

# 第 69 回 日本生物工学会 アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー



9月12日(火) 11:45-12:45  
H会場 52号館 204室  
セミナー番号: 2L-H02

## 演題

### 定量メタボローム解析のための GC/MS Calibration-Curve-Locking Database の構築

メタボローム解析においては、分析対象が多岐にわたることから、その都度それぞれの代謝物の検量線を作成することはコスト、労力の面から非常に困難であり、定量的なデータの取得はほとんどできていないのが実情である。ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS) においては、質量分析計の検出感度比が一定となるように調整するターゲットチューニングを用いることで、事前取得した検量線データベースに基づいて代謝物濃度を導出する半定量法が可能とされている。

この手法は、Calibration Curve Locking Database (CCLD) と呼ばれ、法医学・環境分析・農薬分析の分野で実際に利用されている。本研究では、定量メタボローム解析のための新たな GC/MS 手法の開発に取り組み、リテンション、MS スペクトル情報、検量線情報等を格納した新規定量メタボローム解析用 CCLD を構築した。

## 演者

九州大学 生体防御医学研究所  
馬場 健史 先生

アジレント・テクノロジー株式会社  
TEL: 0120-477-111 email\_japan@agilent.com



Agilent Technologies